

ウスバノコギリモク

Sargassum serratifolium (C.Agardh) C.Agardh

兵庫県ランク… LE
環境省ランク… -

■ 県内分布

日本海側には比較的ふつうにみられる。

■ 国内分布

新潟県から長崎県までの日本海沿岸

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○

■ 特記事項

瀬戸内海では希産。

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

体は高さ1-2mになることが多い。附着器は盤状で直径1-1.5cm。茎は盤状附着器の中央から直立し、直径2-3mmで2cm程度の高さになり、分枝は少ない。茎の頂部から数本の主枝を生ずる。主枝は2稜形で幅5mmまでになり、縁辺は平滑である。側枝もよく発達する。主枝の基部から生ずる葉は基部反曲しており、楕円形から披針形で頂端は丸く、長さ10cm、幅2cmまでとなり、縁辺は全縁に近く、中肋はやや隆起して頂端に達する。葉の質はあまり厚くない。主枝の中部の葉は下部のものより細くなり、頂端は尖って縁辺に浅い鋸歯を持つようになり、中肋は明らかである。